

エコアクション21

環境活動レポート

活動期間：令和5年4月～令和6年3月



発行：令和6年7月18日

テムズ中日株式会社



1. 組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

テムズ中日株式会社
代表取締役社長 吉田 一仁

2) 所在地

本 社	〒471-0832 豊田市山之手10丁目23番9
(松平分室)	〒444-2215 豊田市中垣内町楠8番、39番
(岡崎倉庫)	〒444-2235 岡崎市大門4丁目17番7
豊橋支店	〒441-8061 豊橋市藤沢町93番地
静岡営業所	〒410-1107 静岡県裾野市御宿51-1

3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 : 執行役員 加藤 能教
担 当 者 : EA21事務局 永久保 早紀(総務部)
連 絡 先 : TEL 0565-28-7551
FAX 0565-28-5003

4) 事業活動

総合ビルメンテナンス業務・総合工事業務・廃棄物処理業務[詳細次P]

5) 事業の規模

・設立年月日 : 昭和41年11月9日
・資 本 金 : 3,000万円
・売 上 高 : 1,504百万円(令和5年4月～令和6年3月)
・従業員数 : 191名(令和6年3月31日現在)

6) 認証・登録の範囲

事業活動

総合工事業務・廃棄物処理業務・総合ビルメンテナンス業務
{詳細次P}

本社

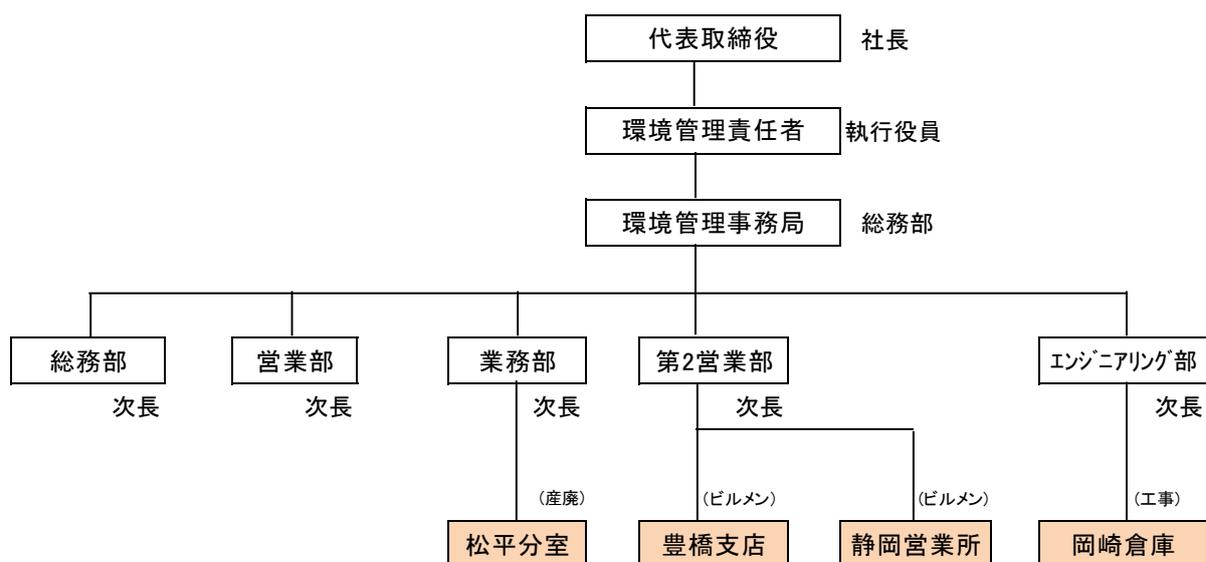
松平分室(業務部産廃部門=積替保管施設・車両置場)

岡崎倉庫(エンジニアリング部資機材専用倉庫)

豊橋支店

静岡営業所

7) エコアクション21 実施体制図



代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の決定 ・環境管理責任者の任命 ・全体の評価及び見直し指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントシステムの監視 ・パフォーマンスの監視 ・遵守評価の実施
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境関連外部との窓口 ・文書、記録の管理 ・環境計画立案、調整 ・部門への計画推進指示及び進捗管理、データ管理 ・教育訓練の実施管理
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・部門における環境計画の立案、遂行管理 ・実施状況の確認・記録管理
部門担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・部門の計画の実施 ・自己の役割の認識

8) 廃棄物処理業務概要

①許可の内容

廃棄物収集運搬業

自治体	許可番号	許可年月日	有効年月日	区別	品目数	許可品目
豊田市	第1035号	令和5年7月4日	令和7年7月3日	一廃	1	ごみ
岡崎市	第10162号	令和5年7月28日	令和7年7月27日	一廃	1	ごみ
みよし市	5み令環第1420号	令和4年4月1日	令和6年3月31日	一廃	1	事業系一般廃棄物
愛知県	第02300035544号	令和6年5月27日	令和13年5月23日	産廃 (優良)	14	(積替え、保管除く)燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類
	第02350035544号	令和3年6月1日	令和8年5月31日	特管	5	(積替え、保管除く)引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、感染性産業廃棄物、特定有害廃石綿等
豊田市	第09010035544号	平成29年6月29日	令和6年6月28日	産廃 (優良)	11	(積替え、保管除く)燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、繊維くず、動植物性残さ、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、(水銀使用製品産業廃棄物含む)
					5	(積替え、保管を含む)廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、(水銀使用製品産業廃棄物含む)

②保有車両

	寸法	最大積載量	台数	備考
バン	4,690×1,690×1,980	1250kg	1台	
パッカー車(塵芥車)	5,870×2,090×2,440	2700kg	1台	
パッカー車(塵芥車)	5,770×2,090×2,400	3050kg	1台	
揚泥車(清掃車)	6,860×2,190×2,710	2180kg	1台	
コンテナ専用車(脱着装置付)	6,140×2,210×2,400	3900kg	1台	
コンテナ専用車(脱着装置付)	5,860×2,200×2,400	3950kg	1台	
キャブオーバー	8,140×2,230×3,020	2550kg	1台	
キャブオーバー	5,990×1,880×2,150	2000kg	1台	

③積替保管施設

- ・所在地 愛知県豊田市中垣内町楠8番、39番
- ・面積 240.28㎡ (保管面積12㎡)
- ・積替保管を行う産業廃棄物の種類(5品目一水銀使用製品産業廃棄物含む)
 - ・廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)
 - ・紙くず、木くず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)
 - ・ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)
- ・保管上限 9.97㎡
- ・高さ 1.3m

④産業廃棄物の受入量・運搬量(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

文書番号①	単位	受入量	運搬量①	運搬量②	備考
廃プラスチック類	kg	399,438	368,743	30,695	運搬量①＝ 直送運搬量 運搬量②＝ 積替保管量
金属くず	kg	211,222	162,180	49,042	
ガラス・陶磁器くず	kg	10,171	9,171	1,000	
紙くず	kg	12,030	10,680	1,350	
木くず	kg	29,670	22,515	7,155	
混合物	kg	84,573	80,673	3,900	
蛍光灯(水銀使用製品産業廃棄物)	kg	718	718	-	
がれき類	kg	3,998	-	-	
廃油	kg	14,565	-	-	
廃アルカリ	kg	1,000	-	-	
廃酸	kg	-	-	-	
引火性廃油	kg	-	-	-	
汚泥	kg	7,970	-	-	
廃電機器具	kg	159	-	-	
乾電池	kg	129	-	-	

⑤ 一般廃棄物の運搬量(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

廃棄物等の種類	単位	運搬量	備考
可燃	kg	69,990	焼却
段ボール	kg	43,230	資源
雑誌	kg	11,790	資源
新聞	kg	1,070	資源
シュレッダー古紙	kg	12,030	溶解
機密書類	kg	2,490	溶解/焼却
飲料缶	kg	70	資源
飲料瓶	kg	155	資源
鉄くず(有価客先返却)	kg	37,250	有価
家電リサイクル 冷蔵庫	台	3	-
家電リサイクル 洗濯機	台	4	-
家電リサイクル 乾燥機	台	-	-
家電リサイクル テレビ	台	3	-
家電リサイクル エアコン	台	-	-
家電リサイクル ノートPC	台	10	-
家電リサイクル DVD	台	2	-
家電リサイクル スピーカー	台	4	-
家電リサイクル プリンター	台	1	-

2. 環境方針

基本理念

テムズ中日株式会社は、「資源は有限」との地球資源保護の重要性を認識し、継続的にマネジメントシステムの改善を図り地球環境に優しく、地域社会の環境保全に貢献する企業として行動します。

環境方針

当社の事業活動であるビルメンテナンス業務、工事業務、産業廃棄物処理業務の事業活動を通じて、環境保全に及ぼす影響を検討し、環境負荷の低減と汚染の予防を図り、継続的改善に努めます。

1. 事業活動で使用する水、電気及び燃料等の省エネルギーを推進し二酸化炭素の発生を抑制します。
2. 環境に優しい資機材を利用し、顧客にも積極的に提案いたします。
3. 事業活動に当たり、自然環境や生態系への影響を配慮して環境保全対策に取り組みます。
4. 環境目的及び目標を定め、その実現を図り、また定期的な見直しを図ります。
5. 当社の事業活動で適用される、環境関連の法令・条例等を順守します。
6. この環境方針を、全従業員に周知徹底し、環境への意識向上を図ると共に、環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。

令和5年5月24日

テムズ中日株式会社
代表取締役社長 吉田一仁

3. 環境活動目標

	管理項目		基準年	1期目標	2期目標	3期目標
			2021年4月～ 2022年3月	2022年4月～ 2023年3月	2023年4月～ 2024年3月	2024年4月～ 2025年3月
温室効果ガス 排出量	CO2排出量 (kg-CO2)	削減率	—	5.0%	9.0%	11.0%
		基準値/目標値	115,603	109,823	105,199	102,887
使用エネルギー の削減	電力使用量 (kwh)	削減率	—	1.0%	2.0%	3.0%
		基準値/目標値	46,595	46,129	45,663	45,197
	ガソリン・軽油使 用量 (L)	削減率	—	3.0%	7.0%	10.0%
		基準値/目標値	39,959	38,760	37,162	35,963
廃棄物	一般廃棄物 排出量 (kg)	削減率	—	1.0%	3.0%	5.0%
		基準値/目標値	2,635.0	2,609	2,556	2,503
	産業廃棄物 排出量 (kg)	削減率	—	1.0%	3.0%	5.0%
		基準値/目標値	13,051.0	12,920	12,659	12,398
総排水量	水道水使用量 (m ³)	削減率	—	10.0%	11.0%	12.0%
		基準値/目標値	310	279	276	273
グリーン購入	購入時にグリーン商品を確認し、環境に配慮した商品の購入を検討する。					
化学物質	毎月の使用量把握が難しいため、購入量で把握。					
環境保全活動 の実施	緊急事態訓練	回/年	1	1	1	1
	環境セミナー・展示 会等への参加	回/年	2	2	2	2

※1. CO2排出係数は0.426 kg-co2/kwh(中部電力)、ガソリン2.32kg-co2L を使用した。

※2. 豊橋支店、静岡営業所は2023年9月より取組開始。目標は3期より組込む。

別表【活動別ガソリン・軽油使用量】

活動別	管理項目		基準年	1期目標	2期目標	3期目標
			2021年4月～ 2022年3月	2022年4月～ 2023年3月	2023年4月～ 2024年3月	2024年4月～ 2025年3月
活動全体		削減率	—	3.0%	7.0%	10.0%
		基準値/目標値	39,959	38,760	37,162	35,963
本社 (ガソリン)	ガソリン・軽油使 用量 (L)	削減率	—	3.0%	7.0%	10.0%
		基準値/目標値	19,802	19,208	18,416	17,822
工事業務 (ガソリン・軽油)		削減率	—	3.0%	7.0%	10.0%
		基準値/目標値	8,883	8,617	8,261	7,995
収集運搬業務 (軽油)		削減率	—	3.0%	7.0%	10.0%
		基準値/目標値	11,274	10,936	10,485	10,147

3. 環境活動目標

※今期実績値を基準とし、豊橋支店・静岡営業所を含めた3ヶ年目標を新たに作成。

	管理項目		基準年	1期目標	2期目標	3期目標
			2023年4月～ 2024年3月	2024年4月～ 2025年3月	2025年4月～ 2026年3月	2026年4月～ 2027年3月
温室効果ガス 排出量	CO2排出量 (kg-CO2)	削減率	—	5.0%	7.0%	9.0%
		基準値/目標値	123,841	117,649	115,172	112,695
使用エネルギー の削減	電力使用量 (kwh)	削減率	—	1.0%	2.0%	3.0%
		基準値/目標値	50,735	50,228	49,720	49,213
	ガソリン・軽油 使用量 (L)	削減率	—	3.0%	5.0%	7.0%
		基準値/目標値	42,876	41,590	40,732	39,875
廃棄物	一般廃棄物 排出量 (kg)	削減率	—	1.0%	3.0%	5.0%
		基準値/目標値	2,361.0	2,337	2,290	2,243
	産業廃棄物 排出量 (kg)	削減率	—	1.0%	3.0%	5.0%
		基準値/目標値	7,054.0	6,983	6,842	6,701
総排水量	水道水使用量 (m ³)	削減率	—	5.0%	7.0%	10.0%
		基準値/目標値	384	365	357	346
グリーン購入	購入時にグリーン商品を確認し、環境に配慮した商品の購入を検討する。					
化学物質	毎月の使用量把握が難しいため、購入量で把握。					
環境保全活動 の実施	緊急事態訓練	回/年	1	1	1	1
	環境セミナー・展示 会等への参加	回/年	2	2	2	2

※1. CO2排出係数は0.426 kg-co2/kwh(中部電力)、0.442kg-co2/kwh(東京電力)、
ガソリン2.32kg-co2L を使用した。

別表【活動別ガソリン・軽油使用量】

活動別	管理項目		基準年	1期目標	2期目標	3期目標
			2023年4月～ 2024年3月	2024年4月～ 2025年3月	2025年4月～ 2026年3月	2026年4月～ 2027年3月
活動全体	ガソリン・軽油 使用量 (L)	削減率	—	3.0%	5.0%	7.0%
		基準値/目標値	42,876	41,590	40,732	39,875
本社 (ガソリン)		削減率	—	3.0%	5.0%	7.0%
		基準値/目標値	18,965	18,396	18,017	17,637
豊橋支店 (ガソリン)		削減率	—	3.0%	5.0%	7.0%
		基準値/目標値	5,712	5,541	5,426	5,312
静岡営業所 (ガソリン)		削減率	—	3.0%	5.0%	7.0%
		基準値/目標値	2,089	2,026	1,985	1,943
工事業務 (ガソリン・軽油)		削減率	—	3.0%	5.0%	7.0%
		基準値/目標値	6,067	5,885	5,764	5,642
収集運搬業務 (軽油)	削減率	—	3.0%	5.0%	7.0%	
	基準値/目標値	10,043	9,742	9,541	9,340	

4. 環境活動計画の取組内容(今期)

(1) 二酸化炭素排出量削減に向けた取組み(全部門)

- 1) 電力使用量削減
 - ・不在箇所の照明の消灯
 - ・不在箇所の空調機OFF
 - ・昼休みの消灯
 - ・不在時のPC スリープモード
 - ・空調温度管理
 - ・空調機の定期点検とフィルター清掃
- 2) 燃料削減
 - ・エコ運転の推奨(急加速しないスロースタート)
 - ・車両整備の実施(こまめにオイル交換)
 - ・エコ車両への切替(HV車等低燃費車)
 - ・ルートの見直し(最短距離・効率的な順序)
 - ・アイドリングストップの実施

(2) 産業廃棄物排出量削減に向けた取組み

- ・分別ルールの徹底(全部門)
- ・マニフェストの管理(産廃部門)
- ・定期的な排出量の把握(全部門)

(3) 節水に向けての取組み

- ・手洗い等における社員への節水要請(全部門)
- ・水使用量の把握(全部門)
- ・洗車時の節水(産廃部門)

(4) グリーン購入推進に向けての取組み(本社)

- ・環境に配慮した商品の購入を随時検討する

(5) 化学物質削減に向けての取組み(工事部門)

- ・購入の際には必ずSDSを確認する
- ・在庫の管理を徹底し、使い切ってから購入する

(6) 環境保全活動の実施(全部門)

- ・環境関連セミナー等への参加
- ・緊急事態対応訓練(火災訓練等実施)
- ・毎月会議での情報展開
- ・関係法令の遵守

5. 環境活動の取組結果と評価

	管理項目		基準	当期目標	当期実績	評価コメント
			2021年4月～ 2022年3月	2023年4月～ 2024年3月	2023年4月～ 2024年3月	
温室効果ガス 排出量	CO2排出量 (kg-CO2)	削減率	—	9.0%	11.4%	待機電力の減少、社用車や社用車での移動距離が減少したことなどによりCO2の削減ができた。
		基準/目標/実績	115,603	105,199	102,431	
使用エネルギー の削減	電力使用量 (kwh)	削減率	—	2.0%	7.5%	空調の温度設定を管理したこと、給茶機やコピー機を新しくしたことで待機電力が減り、使用量の削減ができた。
		基準/目標/実績	46,595	45,663	43,108	
	ガソリン・軽油使用量 (L)	削減率	—	7.0%	12.2%	継続的に使用する社用車の減少、移動距離の減少、HV車の増加などの影響がありガソリンの削減につながった。
		基準/目標/実績	39,959	37,162	35,075	
廃棄物	一般廃棄物 排出量 (kg)	削減率	—	3.0%	10.8%	松平分室での可燃物排出量減少、本社駐車場の除草作業をごみ処理も含め業者に依頼したことなどがあり減少できた。
		基準/目標/実績	2,635.0	2,556	2,350.0	
	産業廃棄物 排出量 (kg)	削減率	—	3.0%	46.0%	工事部門の金属くず・紙くず・木くずの排出量減少、プラスチックカップ廃止等により本社の廃プラ減少。
		基準/目標/実績	13,051.0	12,659	7,054	
総排水量	水道水使用量 (m ³)	削減率	—	11.0%	-20.6%	内勤者が増加しトイレの使用頻度が多くなったこと、松平で冬に凍結防止のため少量水を流していることなどがより増加。
		基準/目標/実績	310	276	374	
グリーン購入	購入時にグリーン商品を確認し、積極的に環境に配慮した商品の購入を検討する。					ファイル・ホルダー等事務用品の購入。
化学物質	毎月の使用量把握が難しいため、購入量で把握。					今後も在庫の管理をしていくことで無駄な購入を減らす。
環境保全活動 の実施	緊急事態訓練	回/年	1	1	1	9月に火災・地震訓練、1月に油漏対策訓練を実施。
	環境セミナー・展示会等への参加	回/年	2	2	2	展示会「メッセナゴヤ2023」をオンラインにて1件視察、廃棄物適正処理についてZOOMによる情報収集1件

※1. CO2排出係数は0.426 kg-co2/kwh(中部電力)、ガソリン2.32kg-co2L を使用した。

別表【活動別ガソリン使用量】

活動別	管理項目		基準	当期目標	当期実績	評価コメント
			2021年4月～ 2022年3月	2023年4月～ 2024年3月	2023年4月～ 2024年3月	
活動全体		削減率	—	7.0%	12.2%	継続的に使用する車両の減少、HV車の増加などの影響がありガソリンの削減につながった。
		基準/目標/実績	39,959	37,162	35,075	
本社 (ガソリン)	ガソリン・軽油使用量 (L)	削減率	—	7.0%	4.2%	目標には至らなかったが、新車への入れ替え等もあり去年以上のガソリン削減に成功した。
基準/目標/実績		19,802	18,416	18,965		
工事業務 (ガソリン・軽油)		削減率	—	7.0%	31.7%	工事部門の車両の減少にともなって燃料使用量が大きく減少。
基準/目標/実績		8,883	8,261	6,067		
収集運搬業務 (軽油)	削減率	—	7.0%	10.9%	単発のコンテナ回収業務が例年よりも少なかったことが影響しガソリン使用量が減少。	
基準/目標/実績	11,274	10,485	10,043			

6. 環境活動計画の取組内容(次期)

(1) 二酸化炭素排出量削減に向けた取組み(全部門)

1) 電力使用量削減

- ・不在箇所の照明の消灯
- ・不在箇所の空調機OFF
- ・昼休みの消灯
- ・不在時のPC スリープモード
- ・空調温度管理(夏期27℃、冬期21℃)
- ・空調機の定期点検とフィルターの定期清掃
- ・電気使用量の把握
- ・電気湯沸器の夏季休止(本社)

2) 燃料削減

- ・エコ運転の推奨(急加速しないスロースタート)
- ・車両整備の実施(こまめにオイル交換)
- ・エコ車両への切替(HV車等低燃費車)
- ・ルートの見直し(最短距離・効率的な順序)
- ・アイドリングストップの実施
- ・ガソリン給油量の車両ごと把握
- ・走行距離の車両ごと把握
- ・ルートの見直し(最短距離・効率的な順序)

(2) 産業廃棄物排出量削減に向けた取組み

- ・分別ルールの徹底(全部門)
- ・マニフェストの管理(産廃部門)
- ・定期的な排出量の把握(全部門)

(3) 節水に向けての取組み

- ・手洗い等における社員への節水要請(全部門)
- ・水使用量の把握(本社)
- ・洗車時の節水(産廃部門)

(4) グリーン購入推進に向けての取組み(本社)

- ・環境に配慮した商品の購入を随時検討する

(5) 化学物質削減に向けての取組み

- ・購入の際には必ずSDSを確認する(全部門)
- ・在庫の管理を徹底し、使い切ってから購入する(工事部門)

(6) 環境保全活動の実施(全部門)

- ・環境関連行事・教育の参加
- ・緊急事態対応訓練(火災訓練等実施)
- ・毎月会議での情報展開
- ・関係法令の遵守

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

1) 適用となる主な関係法規

令和6年3月31日

法令・規制名称	該当する活動	順守状況
建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管法)	各種登録業の維持により建築物における衛生的な環境の確保を図る。	○
豊田市環境基本条例	廃棄物発生の削減とリサイクルによる再資源化。廃棄物発生時の適正な処理	○
豊田市一般廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出の適正処理、マニフェストの管理他	○
PRTR法	SDS制度を利用し資材購入時の検討材料とする。(清掃時の洗剤購入等)	○
建設リサイクル法	元請工事の建築・解体工事等における計画・施行班への教育	○
家電リサイクル法	自社廃棄物における指定家電の廃棄に当たり適正な処理を行う	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車のリサイクルの周知	○
労働安全衛生法	関連諸法令に対する技能・資格を保持する社員の育成	○
消防法	危険物取扱者等の資格者育成・保持	○
改正フロン排出抑制法	事務所業務用エアコンの点検管理	○
水質汚濁防止法	排水の適正処理(油水分離層の管理等)	○
騒音規制法	事業活動に伴って発生する騒音についての規制	○

2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規及び条例への違反はありません。

なお、過去3年間に於いて訴訟及び関係機関等からの指摘はありません。

8. 各種緊急対応訓練風景

1. 火災訓練



2. 地震訓練



3. 油漏れ訓練



9. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度においても、空調機の温度管理の徹底、業務車両の切り替え時におけるハイブリット車や低燃費軽車両の導入によって、温室効果ガス排出量の基準値を下回ることができました。

一方で、水道使用量に関しては基準値を超える結果となりました。

社内勤務の者が増えお手洗いや給茶機の使用頻度が増えたこと、冬季の寒さが厳しく、松平分室にて凍結防止のため微量の水を流す措置を行ったことが理由として考えられます。

今後につきましては、従来通り環境影響に配慮しながら事業活動を進めていく所存ではございますが、予測のつかない天候の変化や年々上がる気温から社員の健康を守ることも重要であり、バランスをとりながらCO2の削減に取り組んでいきたいと考えております。

59期より豊橋支店、静岡営業所が新しく実施体制に組み込まれるため、それらを含めた環境目標を、58期を基準年として作成します。環境方針は大幅な変更の必要はないと判断します。

令和6年3月31日

代表取締役社長 吉田一仁